

ポーチのお手入れ方法

※AMO型に関しては、ポーチつきタイプとポーチの無いタイプがあります。

ネットに入れ、洗濯機の手洗いコースまたはドライコースで洗い、日陰でよく乾燥させる。

※手洗いの場合は、水またはぬるま湯で軽く洗い、十分乾燥させる。

お手入れ上の注意

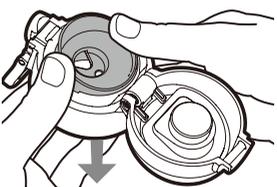
お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系及び酸素系漂白剤、エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しない。変色の原因
- 衣類乾燥機や洗濯乾燥機は使用しない。変形・変色の原因
- アイロンは使用しない。変形・変色の原因

飲み口の取りはずし・取り付け方

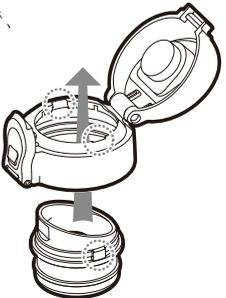
飲み口をはずす

ふたをあけた状態で、図のようにせんユニットを持ち、飲み口を下方に押し取りはずす。



飲み口を取りつける

せんの凹部と飲み口の凸部を合わせた状態で、上方向に飲み口を押し入れる。(取りつけが完了するとカチッと音がする)



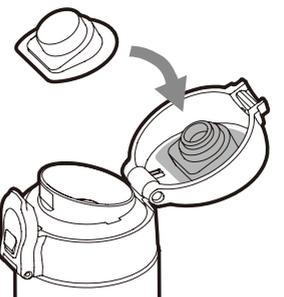
パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

ふたパッキンの取り付け方

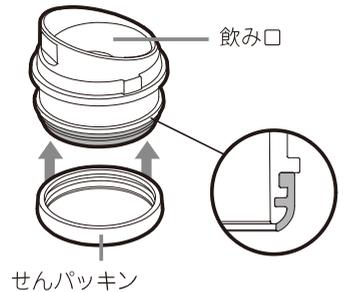
ふたパッキンの凹部をふたの凸部にしっかりと押し込む。



※正しく取り付けないと、飲みものがもれる原因となります。

せんパッキンの取り付け方

飲み口にはめ込み、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10%加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。
 - ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、湯(水)以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒に手入れをするときは、製品が傷つかないようにご注意ください。

修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■ふた・せんからもれる	ふたパッキン・せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	安全ロックやせんがしっかりとしまっていますか。	しっかりとめなおしてください。
	ふたパッキン・せんパッキンが汚れていませんか。	「ボトルのお手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの(本体内部・せん)がにおう	飲みものを入れすぎていませんか。	少量の飲みものを減らしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんユニットやせんパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「ボトルのお手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを正しい量まで入れてください。

※ふたパッキン・せんパッキン・せんユニットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ …… トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店 …… ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ お客様相談窓口 …… お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
AMO型 せんユニット(せん、せんパッキン、ふたパッキン、飲み口)
AMO型 せんパッキン
AMO型 ふたパッキン
AMO型 ポーチセット(ポーチ、ベルトセット)
AMO型 ベルトセット

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合ははこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

21032WEB

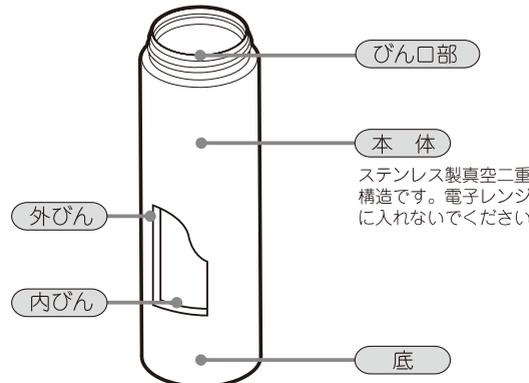
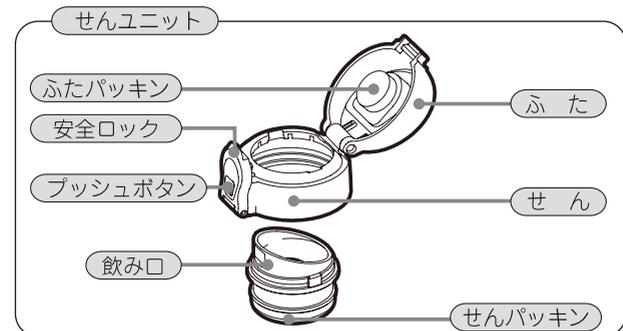
Peacock AMO

ステンレスボトル ワンタッチマグタイプ

取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレスボトルワンタッチマグをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



ステンレス製真空二重構造です。電子レンジに入れしないでください。

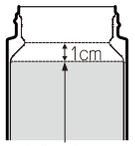
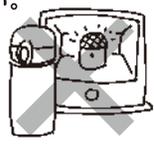
説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。⑤

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲料物の保温・保冷以外に使用しない

<p>乳幼児のいたずらに注意する。</p>  <p>やけど・けがなど危険。</p>	<p>熱い飲み物を入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。</p>  <p>断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。</p>	<p>飲みものの量は、図の位置までにする。</p>  <p>飲みもの位置 入れすぎると、もれ・あふれ・やけどのおそれ。</p>
<p>ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。</p>  <p>変形・変色の原因。</p>	<p>熱いやかんをびん口に触れさせない。</p>  <p>転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。</p>	<p>倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。</p>  <p>破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものもれの原因。</p>

絶対に入れない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、せんユニットがあかなかつたり、飲みものが吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。



- **飲み物を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。外出後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。
- **飲み物を入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。
- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。** はがすと保温(保冷)効力が低下するおそれ。
- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。
- **熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。** お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。
- **熱い飲み物を入れて長時間放置すると、内部が減圧され、ふたがあげにくくなったり、あげるとき、音がする場合がある。**
- **熱い飲み物を入れて使用するとき、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。** 急に傾けると飲みものが勢いよく出て、やけどなどのおそれ。
- **熱い飲み物を入れた直後、本体を振らない。** 内圧が急に上がりふたがあげにくくなったり、あける時、音がする場合があります。
- **大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。
- **せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。** もれ・やけどなどのおそれ。
- **せんパッキン・ふたパッキンは必ずつけた状態で使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
- **せんユニットを持って運ばない。**
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。** 万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。
- **傾けた状態や顔の近くでふたをあげない。** 熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **自動車運転中は使用しない。** やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **自動車専用の缶ホルダーで使用する場合**
 - ①あらかじめ強度を確認してから使用する。強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
 - ②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。
- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。
- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

ポーチについて ※AMO型に関しては、ポーチつきタイプとポーチの無いタイプがありますのでご了承ください。

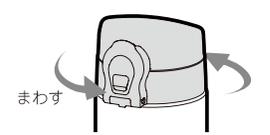
- **ポーチのベルトを持って振りまわさない。**
- **ベルトを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱い絶対しない。** 故障や事故の原因。
- **ポーチは過度の摩擦や水濡れなどにより、多少色落ちや色移りする場合がありますので注意する。**
- **製品が濡れている状態でポーチに入れたまま放置しない。**
- **このポーチは洗濯が可能です。**
- **材質上ポーチが縮む場合がありますので、生地を引きのばしてから使用する。**
- **ポーチを使用する場合、びんを下までしっかり入れ、ボタンを留めて使用する。** びんが抜け落ちてやけどなどのおそれ、傷・変形の原因。内側の底側面にすべりどめがあります。
- **ポーチのボタンは手を添えてゆっくり開閉する。** 破損や、けがなどのおそれ。

ご使用方法

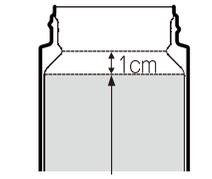
ご使用前にせんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。

1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 飲み物を入れる

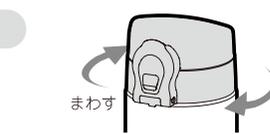


※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲みものの量は図の位置までにする。

飲み物を入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものが吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲み物を入れすぎた場合は、少量の飲みものを捨ててから、元どおりせんユニットをしめてください。

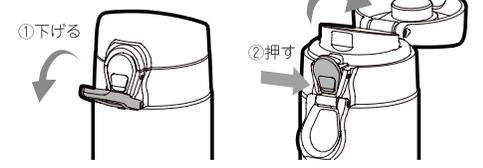
3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。



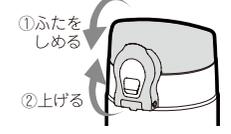
4 ふたをあけて飲みものを飲む

- ①製品を立てた状態で安全ロックを下げる。
- ②プッシュボタンを押してふたをあげ、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。



5 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。
- ②安全ロックを上げて、ロックする。



ボトルのお手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット

本体、せんユニットをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。飲み口は「飲み口の取りはずし・取りつけ方」を参考にし、取りはずした状態で洗う。※つけ洗いはしない。

本体内側

柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

パッキン

パッキンを飲み口やふたから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後「パッキンの取りつけ方」を参考にし、飲み口やふたに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなど付着していると、もれの原因)

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- **漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。
- **シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。** 傷・サビなど故障の原因。
- **本体・せんユニットの煮沸および食器洗い乾燥機や食器乾燥器などの使用はしない。** 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- **本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。**
- **本体を丸洗いした後は、必ず水分をふき取る。** ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- **長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分に乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**